

## News Release

2020年11月20日

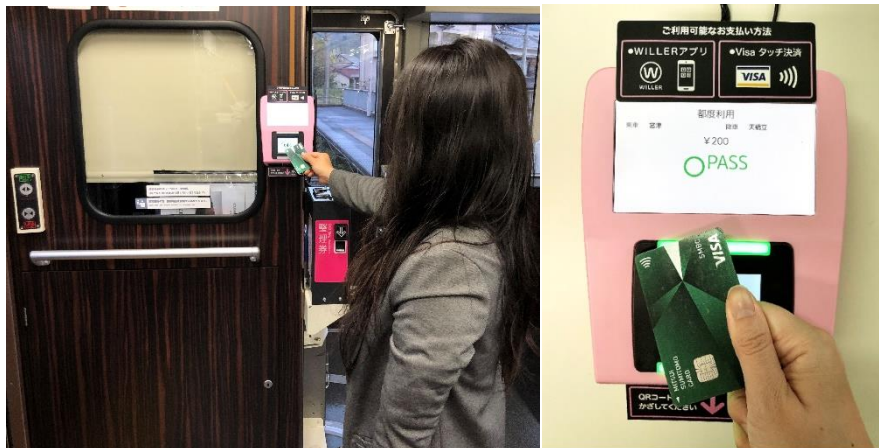
各 位

三井住友カード株式会社  
ビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社

### 日本で初めて鉄道に Visa のタッチ決済を導入！

～Visa のタッチ決済、「stera」を活用し、京都丹後鉄道で距離制運賃の支払いが可能に～

三井住友カード株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大西幸彦、以下:三井住友カード)とビザ・ワールドワイド・ジャパン株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:スティーブン・カーピン、以下:Visa)は、次世代決済プラットフォーム「stera」(\*1)を活用し、均一運賃(\*2)に加え、乗降情報から運賃計算を行う距離制運賃(距離に基づき変動する運賃)にも対応した決済ソリューションを提供開始いたします。その第一弾として、2020年11月25日より、WILLER 株式会社(本社:大阪府大阪市、代表取締役:村瀬茂高)と共に、京都丹後鉄道で均一運賃・距離制運賃に対応した Visa のタッチ決済の取り扱いを開始いたします。また、鉄道での Visa のタッチ決済の導入も日本初となります。



本サービスは、「stera」と QUADRAC 株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:高田昌幸)の公共交通機関向けシステム(\*3)を連携することにより、運賃計算や、リスク管理、更には企画券等の様々なサービスをクラウド経由で提供することが可能なほか、乗降時に Visa のタッチ決済に対応したカード(クレジット、デビット、プリペイド)やスマートフォン等を車内・駅構内に設置された決済端末にかざすだけで乗降が可能となり、スピーディーかつ安心・安全で、便利にご利用いただけます。

本サービスは、日本全国における様々な料金体系の公共交通機関への展開が可能であり、日本の消費者の皆さまに世界で普及が進んでいる Visa のタッチ決済を、お支払いの選択肢として提供することが可能になります。

三井住友カードと Visa は、公共交通機関の事業者に決済ソリューションを開発・提供することにより、日本国内の利用者、旅行者だけでなく、訪日外国人にとっても、乗車時の運賃支払いをスムーズにし、日本国内の快適な移動を可能にします。また、日々の生活において Visa のタッチ決済がより身近な決済方法として事業者、消費者にご選択いただけるよう推進してまいります。

#### ■ Visa のタッチ決済について

全世界の Visa の対面取引の 43%がタッチ決済で行われています(\*4)(2020 年 9 月末時点)。

また、世界 500 以上の都市の公共交通機関における Visa のタッチ決済導入プロジェクトが進行中であり、既にニューヨーク、ロンドン、シンガポールやシドニー等の世界的な観光都市では日々利用されています。更には地方へと広がりを見せており、日常の生活に密着した公共交通機関での Visa のタッチの利用が広がっています。

Visa のタッチ決済は日本国内においても、コンビニエンスストア、ファストフードレストラン、スーパー、飲食店、ドラッグストア、書店、百貨店、商業施設のほか利用可能な加盟店が急速に広がっています。また、国内における Visa のタッチ決済の機能が搭載されたカードの発行も、2020 年 9 月末時点で 3,230 万枚(\*5)と拡大しております。

日本でも海外同様に公共交通機関での Visa のタッチ決済が広がれば、外出してから帰宅するまでの1日を非接触で快適に過ごすことができ、いつもの Visa カードでお買い物や移動など消費者の日常生活において安全性と利便性を兼ね備えた決済体験が可能になります。

\*1. 2019 年 10 月 2 日付ニュースリリース:次世代決済プラットフォーム「stera」について

<https://www.smbc-card.com/company/news/news0001477.jsp>

\*2. 均一運賃は、「2020 年 7 月 21 日付ニュースリリース:日本で初めて公共交通機関の車内に Visa のタッチ決済を導入！」にて対応しております。

<https://www.smbc-card.com/company/news/news0001536.jsp>

\*3. シンククライアント・バックエンドシステム

\*4. VisaNet

\*5. Visa の取引先金融機関・発行会社からの報告による

以上

### 三井住友カードについて

三井住友カードは、日本における Visa のパイオニアとして、またキャッシュレスのリーディングカンパニーとして、事業者・利用者双方の「お客さま起点」でキャッシュレスへの課題解決を目指しています。事業者向けには、2019 年 10 月に事業者が抱えるキャッシュレス決済の不自由さの解決として、次世代決済プラットフォーム「stera」を発表するとともに、事業者が抱えるデータ活用やマーケティングの課題の解決として、保有する膨大なキャッシュレスデータを統計化し、取引先さま等に対するデータ分析支援サービス「Custella」を同年 10 月より提供開始しております。また利用者起点に関しましても、キャッシュレスの急速な普及に伴い様々な決済手段が乱立するなか、実際にキャッシュレスをご利用されるお客さまが「安心・安全」・「便利」・「お得」を実感できるキャッシュレス決済エクスペリエンスを提供しております。

詳しくは、<https://www.smbc-card.com/company/news/index.jsp> をご覧ください。

### Visa について

Visa は、電子決済の世界的リーダーです。Visa のミッションは、最も革新的で信頼性が高く安全な決済ネットワークで世界を結び、個人や企業、そして経済の繁栄に貢献することです。Visa が保有する最先端のグローバルなプロセッシングネットワークである VisaNet は、毎秒 65,000 件を超す取引を処理することができ、世界中に安全かつ信頼のおける電子決済を提供します。Visa は常にイノベーターであり続け、あらゆるデバイスを利用した商取引の発展を促進し、誰でもどこでも利用できる夢のキャッシュレス社会を実現する原動力となっています。世界がアナログからデジタルに移行しつつある今、Visa は自社のブランド、商品、人材、ネットワーク、および企業スケールを活かして商取引の未来を形作っていきます。詳しくは、[https://usa.visa.com/about-visa/our\\_business.html](https://usa.visa.com/about-visa/our_business.html) (英語サイト) または [www.visa.co.jp](http://www.visa.co.jp) (日本語サイト) をご覧ください。